

きらら交流館再整備事業 基本設計書

山陽小野田市

設計

A-1. 駐車場南面外観イメージ





































B-1. 業務概要

●近年の利用ニーズに沿った改修

- ・きらら交流館は平成13年の竣工から23年が経過し、設備や外壁の老朽化とともに利用ニーズの乖離が生じており、今後のニーズに応じた新しい観点からの用途変更を図り、設備等のリニューアルを図りつつ、景観を活かした“にぎわい施設”に改修を行います。

●道の駅 海の駅等と同等の機能を有する観光交流拠点としての機能

- ・当施設は日本夕陽百選にも認定された、きららビーチ焼野という稀有な眺望があり、これまで以上にその良さを活かした施設づくりを推進します。
- ・道の駅等と同等のみんなが気軽に立ち寄り休憩、食事、ショッピングが可能な施設へとリニューアルを行い楽しく人と人の交流、人と自然の交流が図れる施設とします。

●山陽小野田市としての視点

- ・「きらら交流館に係る基本計画」に基づき以下の3点を柱として策定しました。
 - ①スマイルエイジングにつながる機能
 - ②道の駅、海の駅などの観光・交流拠点としての機能
 - ③対象施設周辺の地域資源を活かした交流人口の増加及びにぎわいの創出につながる機能
- 地域資源及び地域連携とは
- ・きららビーチ焼野
 - ・きららガラス未来館（ガラス文化の発信拠点）
 - ・竜王山オートキャンプ場 竜王山公園
 - ・山口東京理科大学
- 以上を考慮した拠点となる施設づくりを行います。

B-2. コンセプト

●設計(ハード)とマーケティング(ソフト)の融合

- ・きらら交流館経営のためマーケティングの観点から、施設全体のテーマ構築、運営ソフトの企画開発、デザインアプリケーション等ブランドデザインの構築を行い、それを施設整備に反映し、ハードとソフトが一体となった明確な施設づくりを行います。

●従前のイメージを一新する施設づくり

- ・道路側や駐車場からわかりやすく、興味を引くようなカラーリングやサイン、シルエットを加え、従前のイメージを一新し、人々を誘導します。

●女性や子どもに選ばれる施設づくり

- ・買物や観光に際しての選択主体は女性や子どもにあると言われており、女性や子どもに受けが良い施設づくりは必須となっています。キッズラウンジコーナーをはじめ、機能が充実したトイレ、パウダーコーナーや授乳室等を設け、全体的に明るく清潔感のある施設とします。

●基本機能を精査し賑わい施設となる機能の導入

□物販店舗の本格導入

- ・駐車場に一番近い1階に新設し、新玄関も設け、日中はこの玄関を起点に施設利用を図ります。

□飲食の充実

- ・これまでの人気があるメニューに加え利用客のニーズにあった特徴のあるメニュー構成を図り充実を図ります。

□温浴施設の再整備

- ・内装を一新します。
- ・室内風呂は一般浴＋寝湯・水風呂の構成とします。
- ・洗い場は仕切りのあるタイプを採用して利便性を向上します。
- ・露天風呂は景色の良い海側に浴槽を設け、魅力アップにつなげます。

□休憩機能の充実

- ・風呂上がりをゆったり過ごせるスペースを拡充し、魅力アップを図るとともに滞在時間を延ばすことにより他部門の売上も伸ばすようにします。

□多目的スペースの整備

- ・多目的スペースをつくり施設利用増を図ります。

□情報発信機能の充実

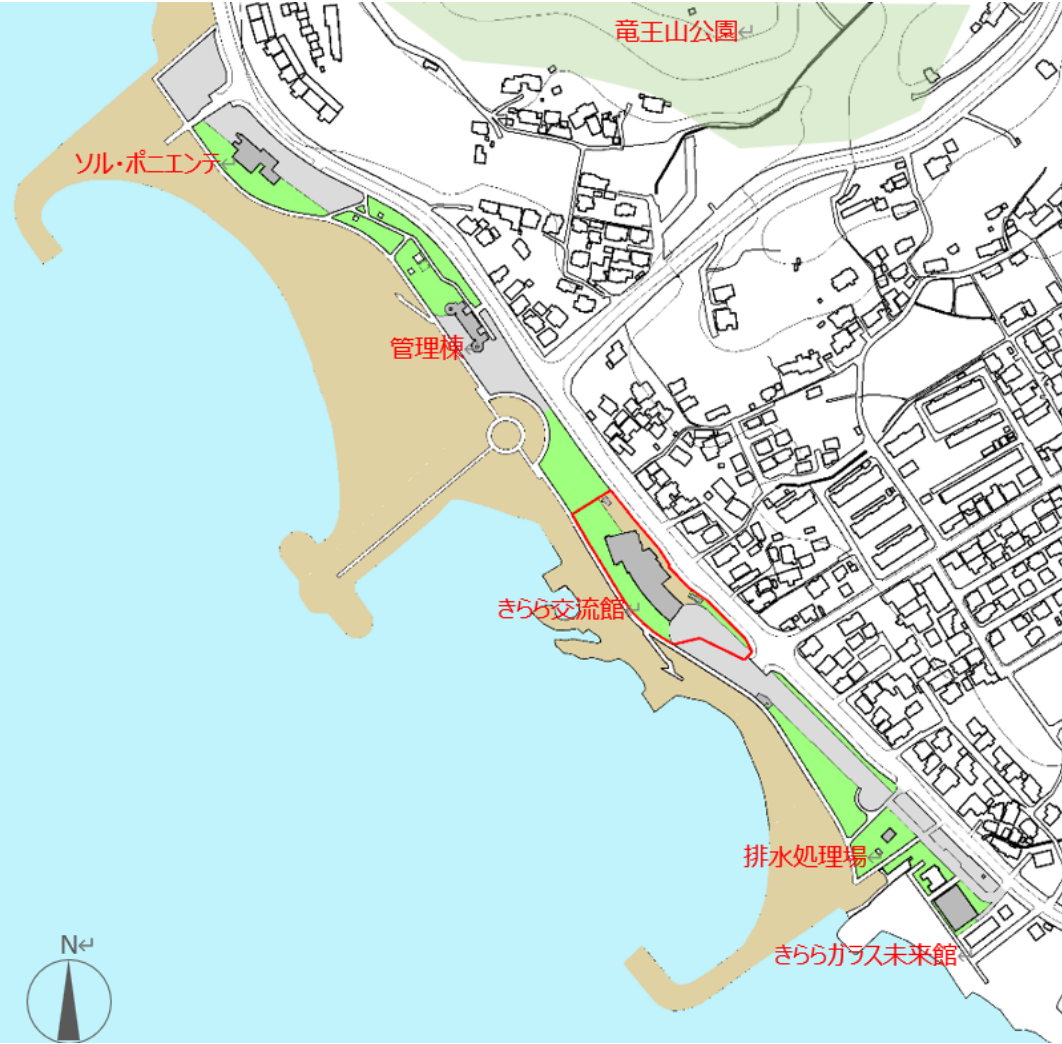
- ・1階事務室近くに情報発信のコーナーを設け、人的な案内も可能とし周辺施設の案内を図ります。

□立地を活かしたビュー配置とアクティビティの充実

- ・景色が優先される部屋のつくりとし、立地を最大限に活かすとともに、立地を活かしたアクティビティが可能なつくりとします。

●立地状況

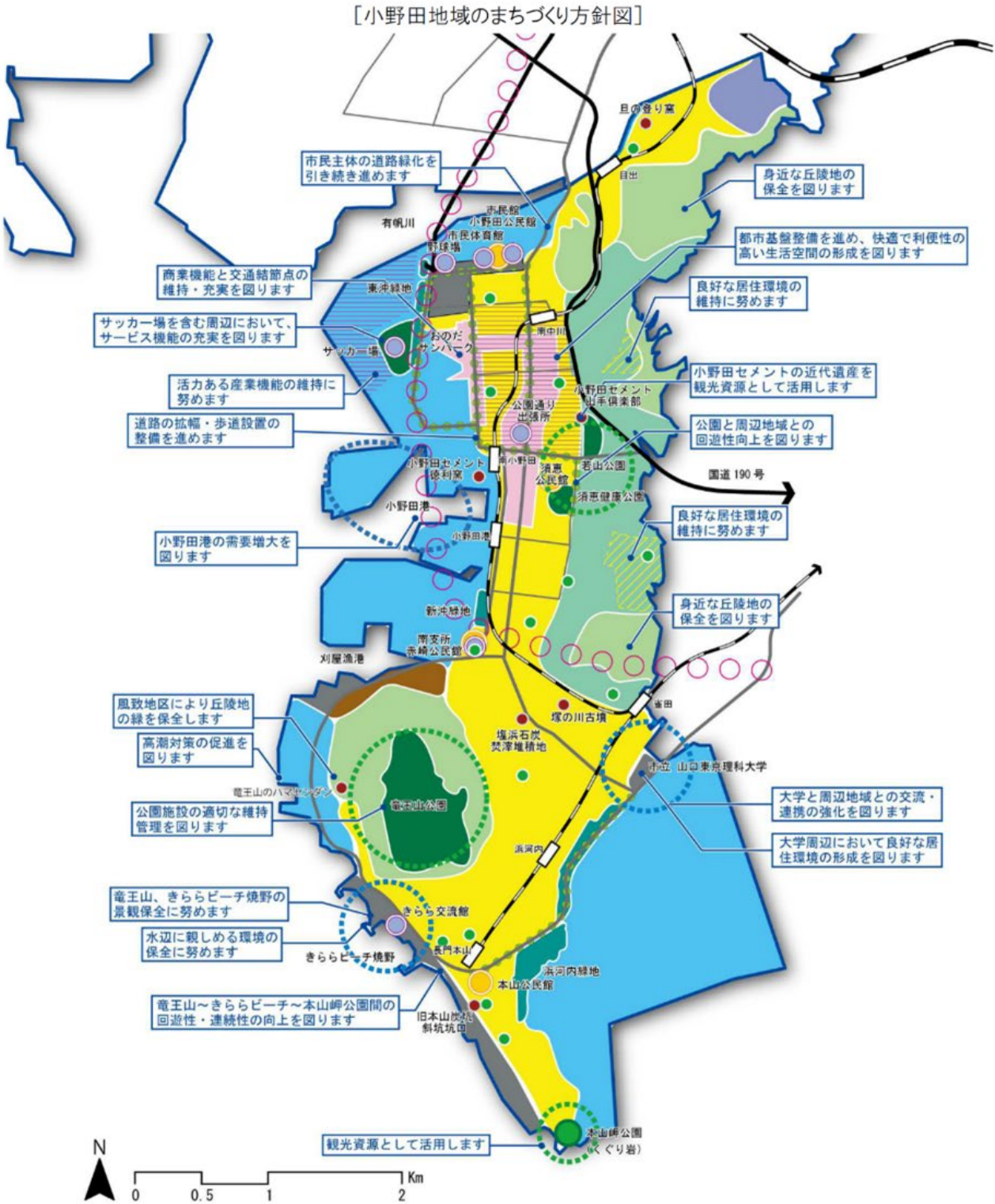
- 当施設は焼野海岸の中央部に位置しています。焼野海岸は北西部のスペイン料理レストランから南東部のきららガラス未来館まで、海が一望できる開放的な景観が連続しており、その中で当施設は中心的な役割を果たすポジションにあります。
- また近隣の連携可能な距離に竜王山公園、利用圏には山口東京理科大学もあります。



焼野海岸付近地図 ※山陽小野田市基本計画より抜粋

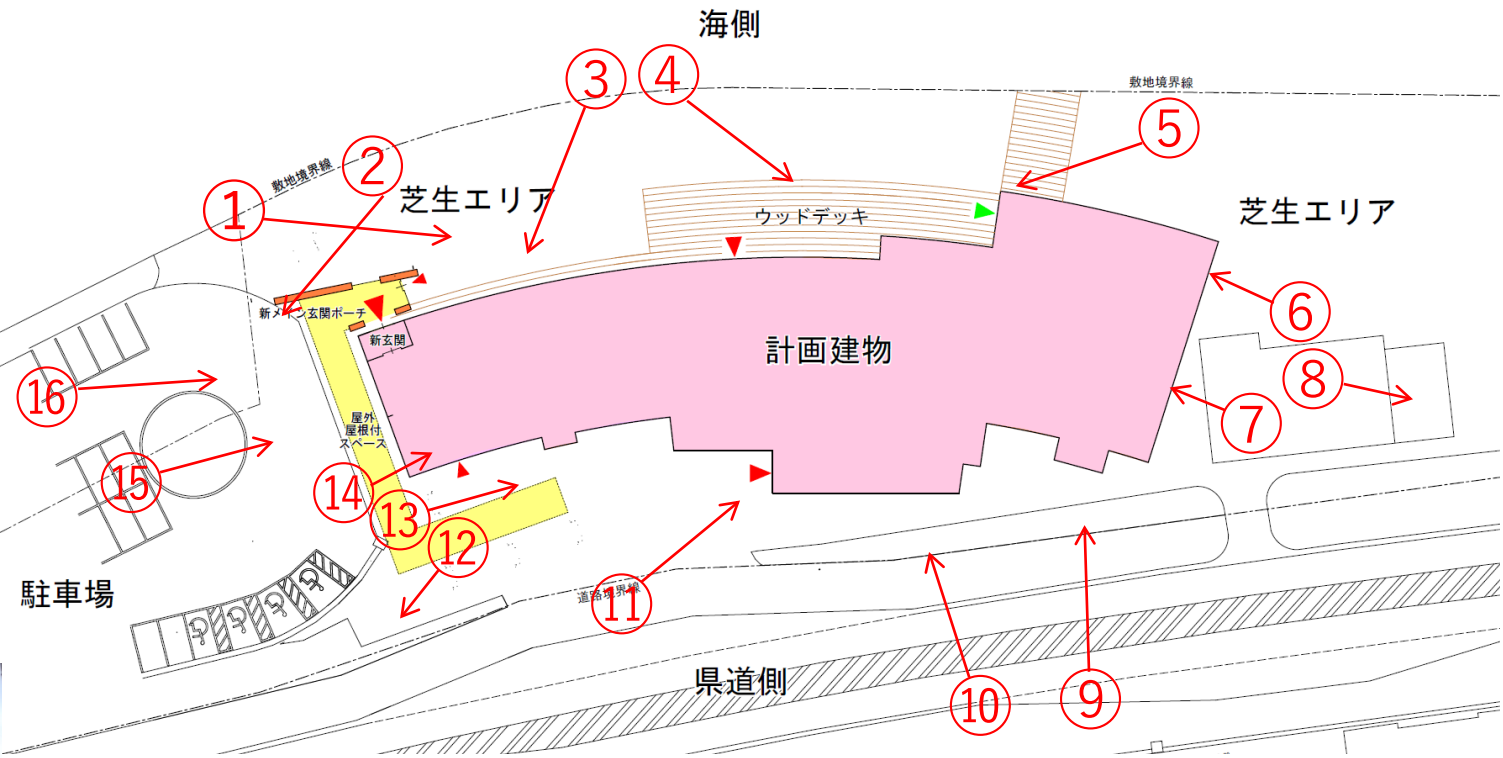
●施設概要（現況）

- 所在地 山陽小野田市大字小野田 5 8 4 番地 9、7 6 0 番地 3 0
- 敷地面積 6,015.38㎡
- 建築面積 1,507㎡
- 延床面積 2,584㎡ 今回一部半屋外部分の別棟増築
- 構造 鉄筋コンクリート造 2階建
- 既設完成年月日 平成13年4月竣工



小野田地域のまちづくり方針図 ※山陽小野田市都市マスタープランより

●周辺状況写真



C-1. 配置計画

●現施設の配置の特徴

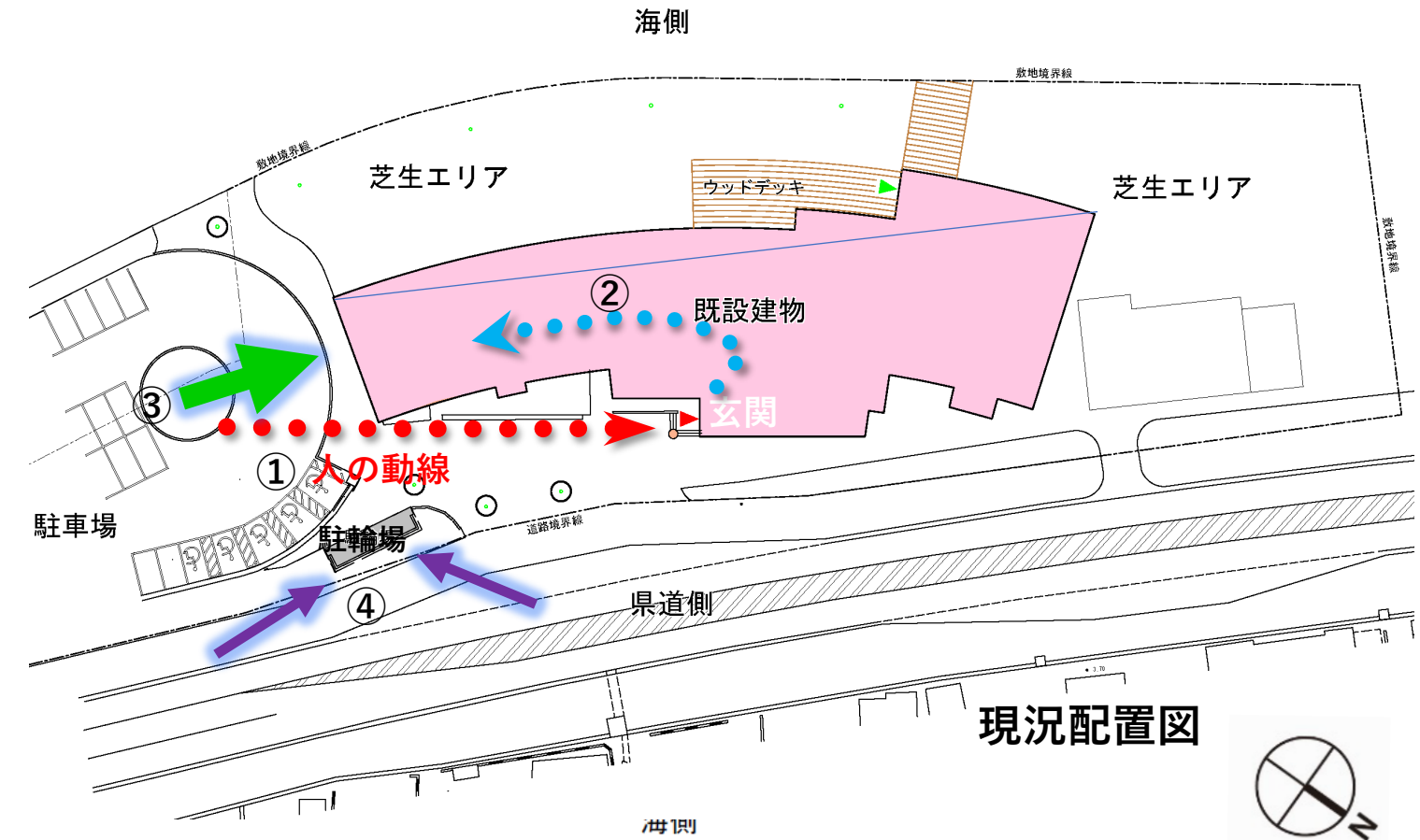
- ・海に平行して南北に長い横長の形状とし、各室から海のロケーションができるだけ望める配置となっています。
- ・海側に開いた緩やかな円弧を描いた形状が特徴となっています。
- ・建物の海側に芝生エリアがあり、海の景観と一体化を図っています。
- ・駐車場は建物の南側の細長い敷地に焼野海岸きららビーチとして209台（うち身障者用駐車場5台）あります。

●現在のその他の課題

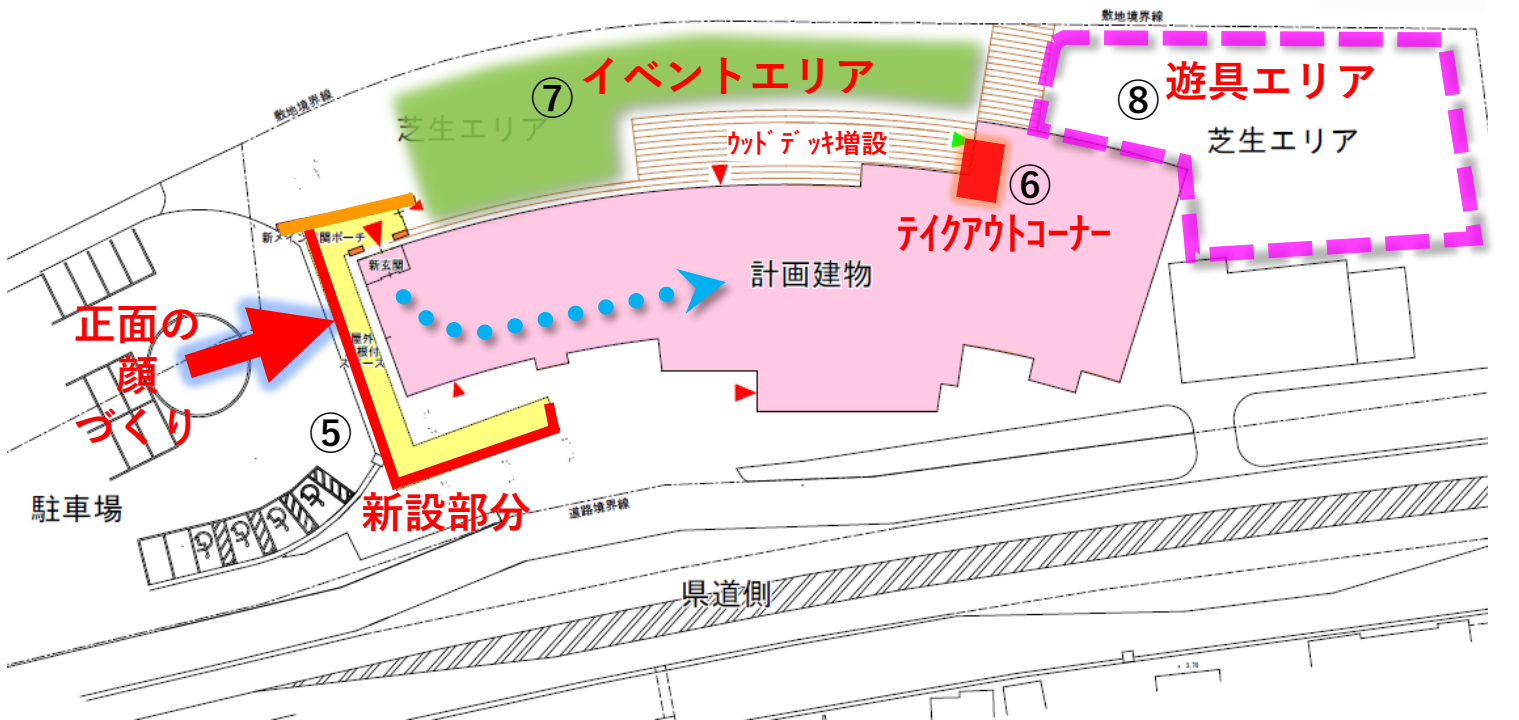
- ①利用者が一番多い駐車場から玄関まで距離があり、建物自体のシルエットの影響で玄関そのものがわかりづらい位置にあります。
- ②玄関が中央にあるため南エリアが折り返しのような動線となりわかりづらくなっています。
- ③駐車場側からの姿が建物の窓のない側面であり、正面の姿となっておらず全体像がつかみにくくなっています。
- ④道路を通過する車両から道路沿いにある駐輪場が建物の全体像を遮っており、見えにくい状態となっています。

●配置整備計画

- ⑤メインアプローチとなる南面の駐車場側に別棟増築で新設部分と既設建物内に新玄関を設け、視認性のアップと館内利用の促進を図ります。
- ⑥既設建物の西側ピロティにテイクアウトコーナーとウッドデッキの増設を行い、外部で海の景色を楽しみながらの利用を促進します。
- ⑦外構の海側西面にある芝生エリアをイベントで楽しめるように整備します。
- ⑧外構の北西面にある芝生エリアに遊具を設置し、親子連れの利用を促進します。



現況配置図

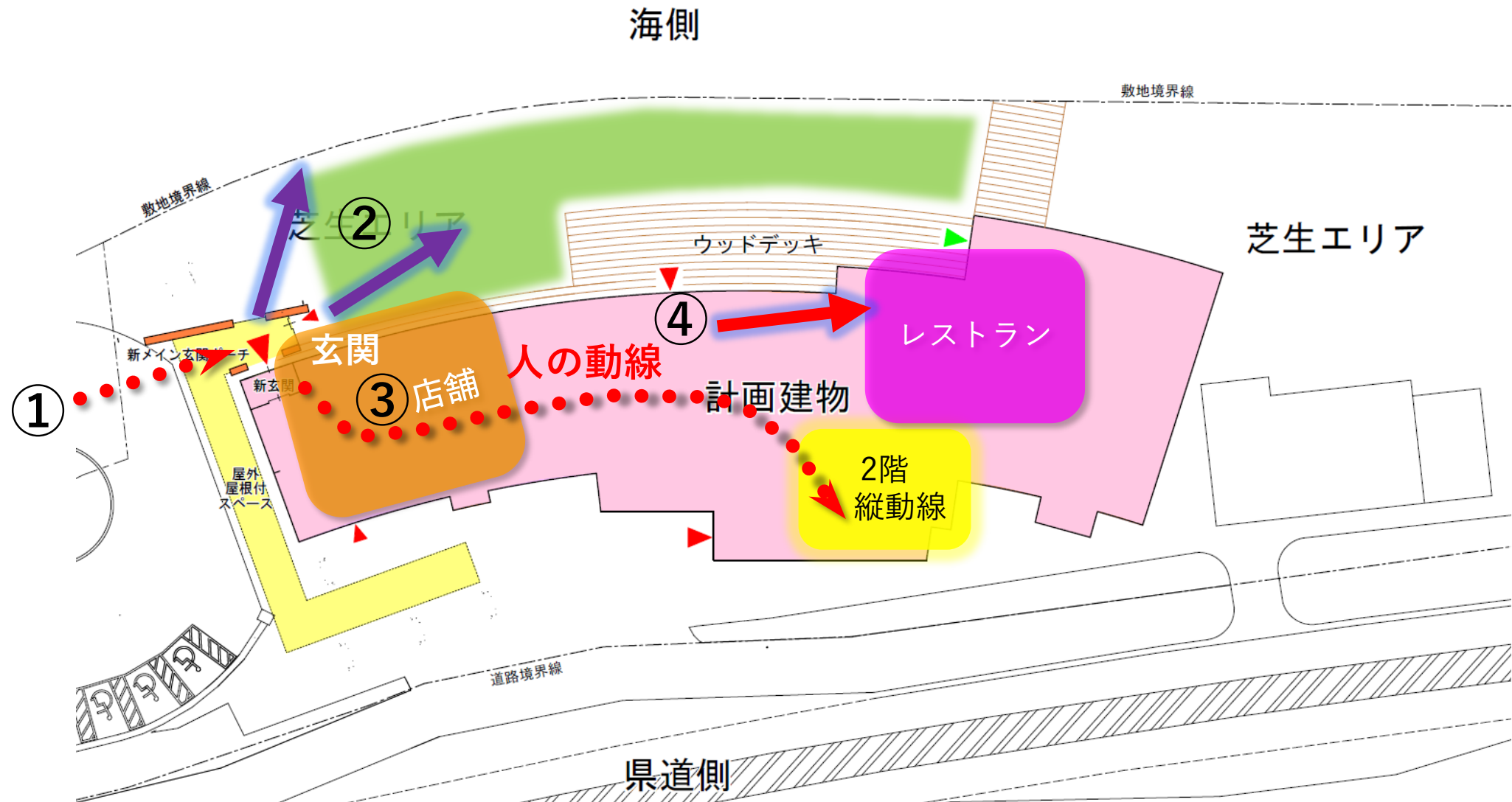


配置再整備計画図



●新動線

- ①利用者が一番多い駐車場から最短でいける視認性の高い新玄関をつくります。
- ②新玄関は眺望の良い海側につくり、海や芝生広場、遊具も見えるようにして誘導するようにします。
- ③館内の1階メイン動線は日中必ず店舗を経由する動線とし、利用を促進します。
- ④2階縦動線までの間にレストランが正面に視界に入るようにします。



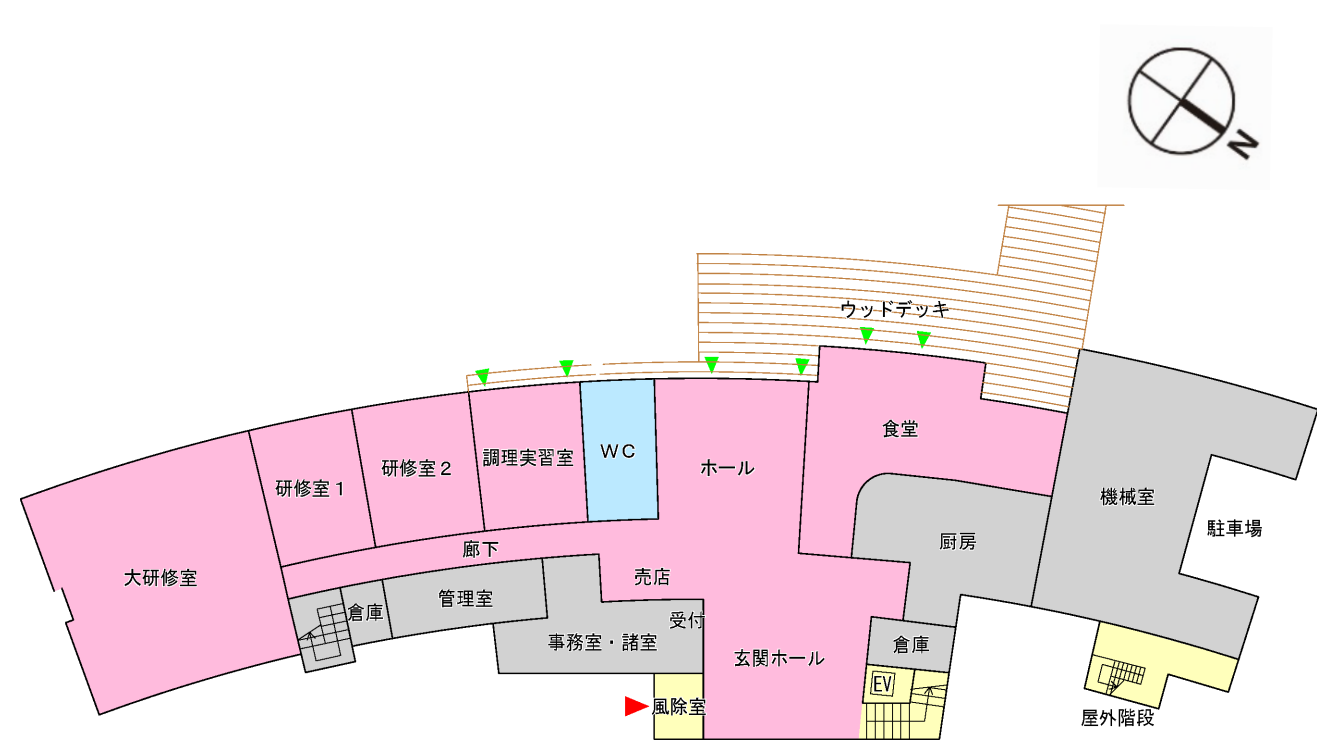
改修後の動線

●現在の 1 階平面

- ・玄関を建物の中央に配置、玄関付近に総合受付事務室など管理部門を設けています。
- ・施設の南側は研修室（大研修室×1、中研修室×2、調理実習室×1）を設けています。
- ・眺望の良い海側中央に吹抜のあるホール（玄関ロビー）を設けています。
- ・ホールに面してレストラン及び厨房を設けています。
- ・北側には、2 階にある浴室用の機械等を設置した機械室があります。

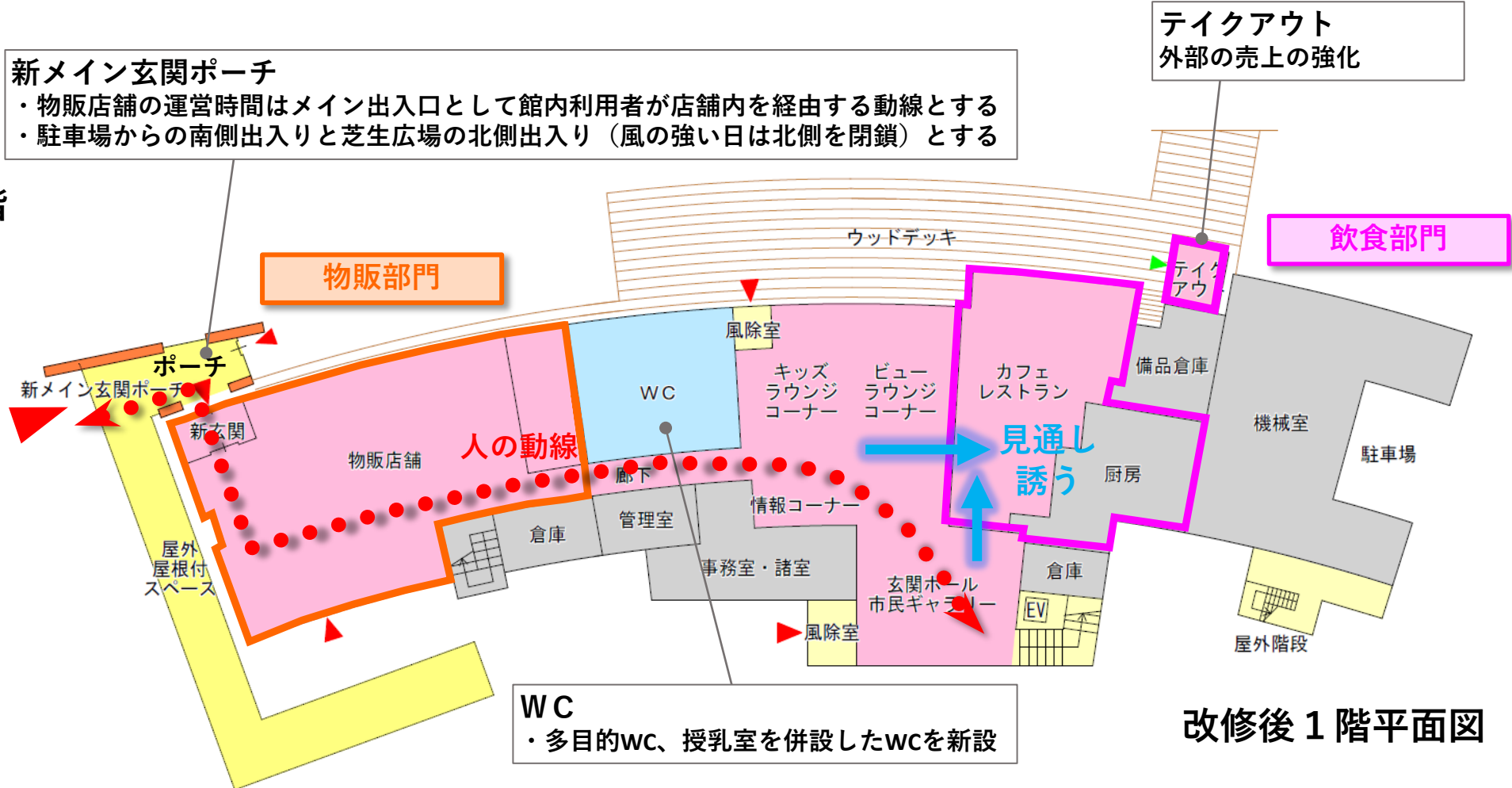
●改修後の1階平面

- ・研修室の位置に新メイン玄関をもった物販店舗と拡張したトイレを新設します。
- ・レストランのスペースを調整し、カフェカウンターを併設したレストランを設けます。
- ・海側での販売を考慮し、テイクアウトスペースをピロティ下に設置します。
- ・建物中央の海側は眺望を活かし、ビューラウンジコーナーやキッズラウンジコーナーを設け魅力アップを図ります。
- ・管理部門は基本的に現況のまま（一部倉庫）とします。



現況 1 階平面図

■ 1 階



改修後 1 階平面図

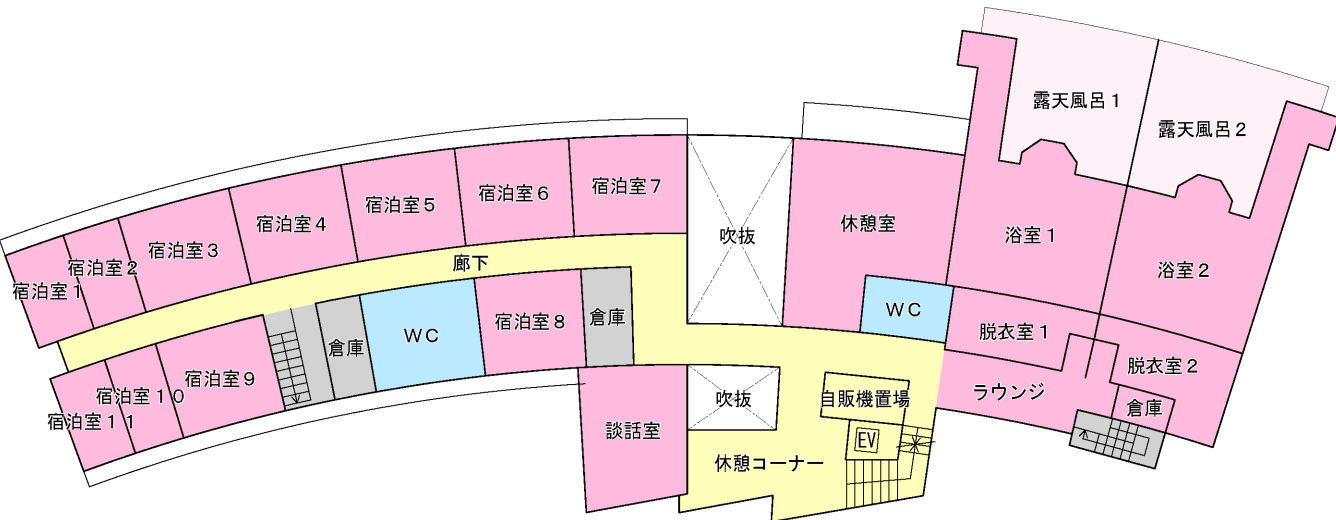


●現在の2階平面

- ・施設の南側は宿泊室（計11室）を設けています。
- ・施設の北側は男子浴室、女子浴室、及びその休憩室を設けています。なお浴室の受付は1階玄関ロビー付近にあり、1階で靴を脱ぎエレベーターか階段で2階に上がるスタイルとなっています。

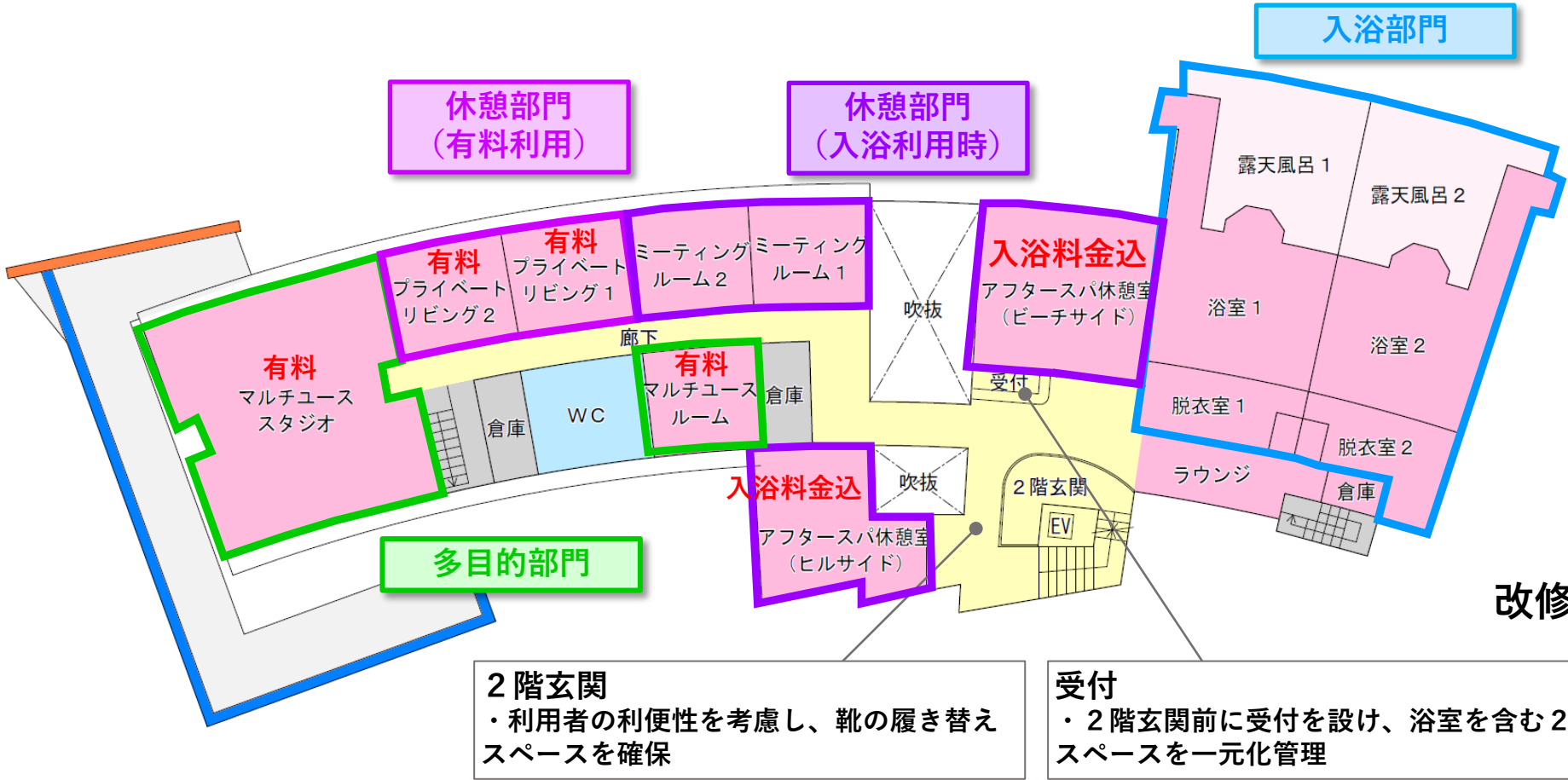
●改修後の2階平面

- ・現在宿泊室の位置に会議、研修や軽スポーツで利用可能なマルチユーススタジオ及びマルチユースルームを設けます。また海側はミーティングルーム及プライベートリビングのスペースを設けます。
- ・浴室はリニューアルを行うものの部屋の間取りは現況を活かしたつくりとします。
- ・現在の休憩室はそのままアフタースパ休憩室（ビーチサイド）へ、現在の談話室付近もアフタースパ休憩室（ヒルサイド）として活用します。
- ・なお2階は全て有料ゾーンとなるため、受付は階段から上がってきた正面を受付とし、靴脱ぎスペースと靴箱スペースを設置します。



現況 2 階平面図

■ 2 階



改修後 2 階平面図

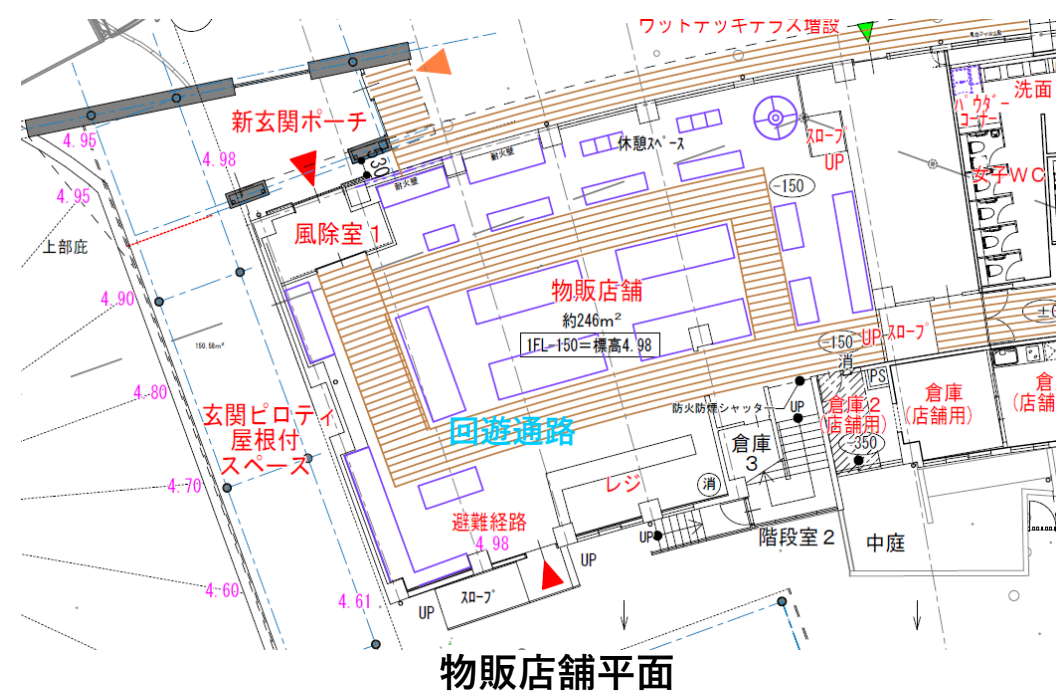
2 階玄関
・利用者の利便性を考慮し、靴の履き替えスペースを確保

受付
・2 階玄関前に受付を設け、浴室を含む 2 階有料スペースを一元化管理

(1)物販店舗部門

●物販店舗改修方針と内装イメージ

- ・ 駐車場に一番近い位置に新玄関と店舗を設け日中は必ず店舗内を通して頂く動線とします。
- ・ 木風のやわらかな雰囲気の中で買い物が楽しめるようにします。
- ・ 海側の一角に休憩コーナーを設け、利用者の様々なニーズに対応します。
- ・ 店内に回遊型のルートをつくり利用を促進します。
- ・ 広々とした開放的な雰囲気をつくります。
- ・ フロント後方に事務室(仮眠室付き)、従業員控室及び更衣室、倉庫リネン庫をコンパクトに設けます。



物販店舗イメージ1



物販店舗イメージ2



物販 参考写真 ※木棚をメインとしたやさしい雰囲気

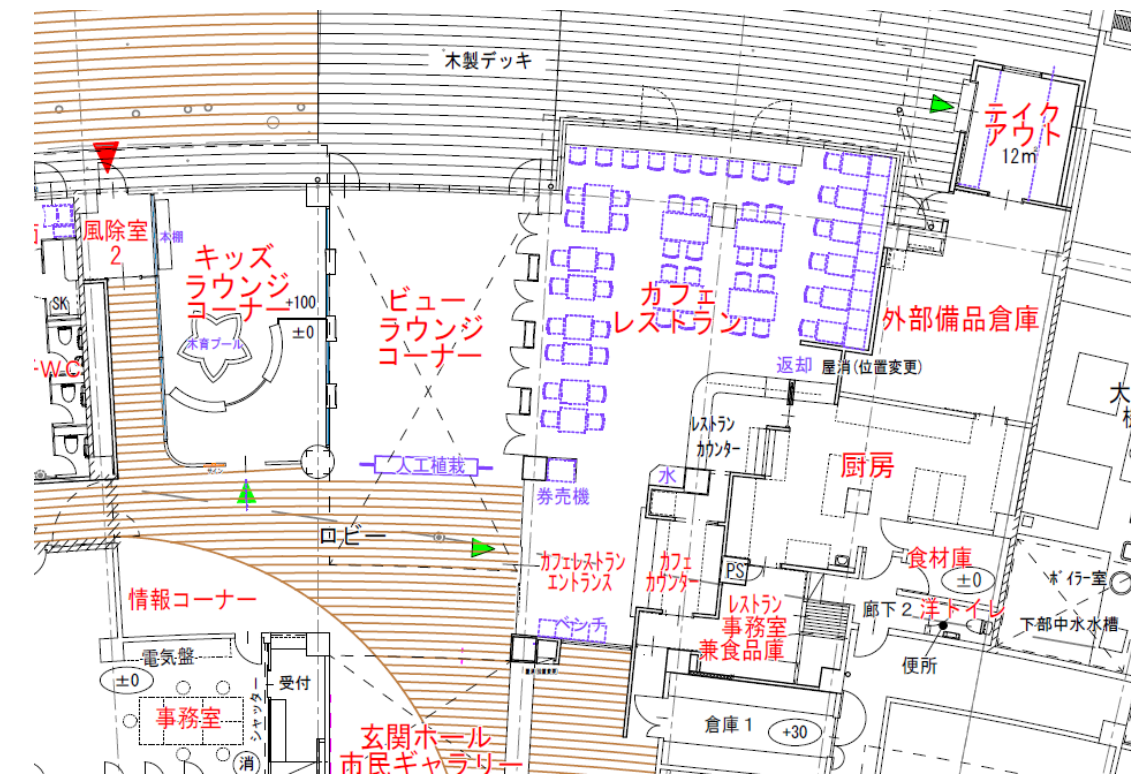
(2)飲食部門

●レストラン改修方針と内装イメージ

- ・カフェを併設したレストランとし、アイドリングタイムも活用できるつくりとします。
- ・外部にテイクアウトコーナーを設け、外部のアクティビティと連動した利用を可能とします。
- ・レストランの厨房と受け渡しカウンターを分離し、食事スペースを独立したスペースとします。
- ・カフェカウンターとレストランカウンターは利用者側からは分離されたつくりとするものの、スタッフは往来可能なつくりで、柔軟な運用を可能とします。
- ・ビューラウンジコーナー側の建具はオープン可能とし、面積以上に広がりを感じるスペースとします。
- ・物販店舗からつながる廊下の視線正面にカフェレストランの玄関を設け、自然な流れでお客様を誘導します。
- ・テイクアウトは新しくできる玄関ポーチから見える位置につくり、利用動機を向上させます。
- ・内装は明るく開放的なイメージとします。



レストランイメージ



カフェレストラン平面

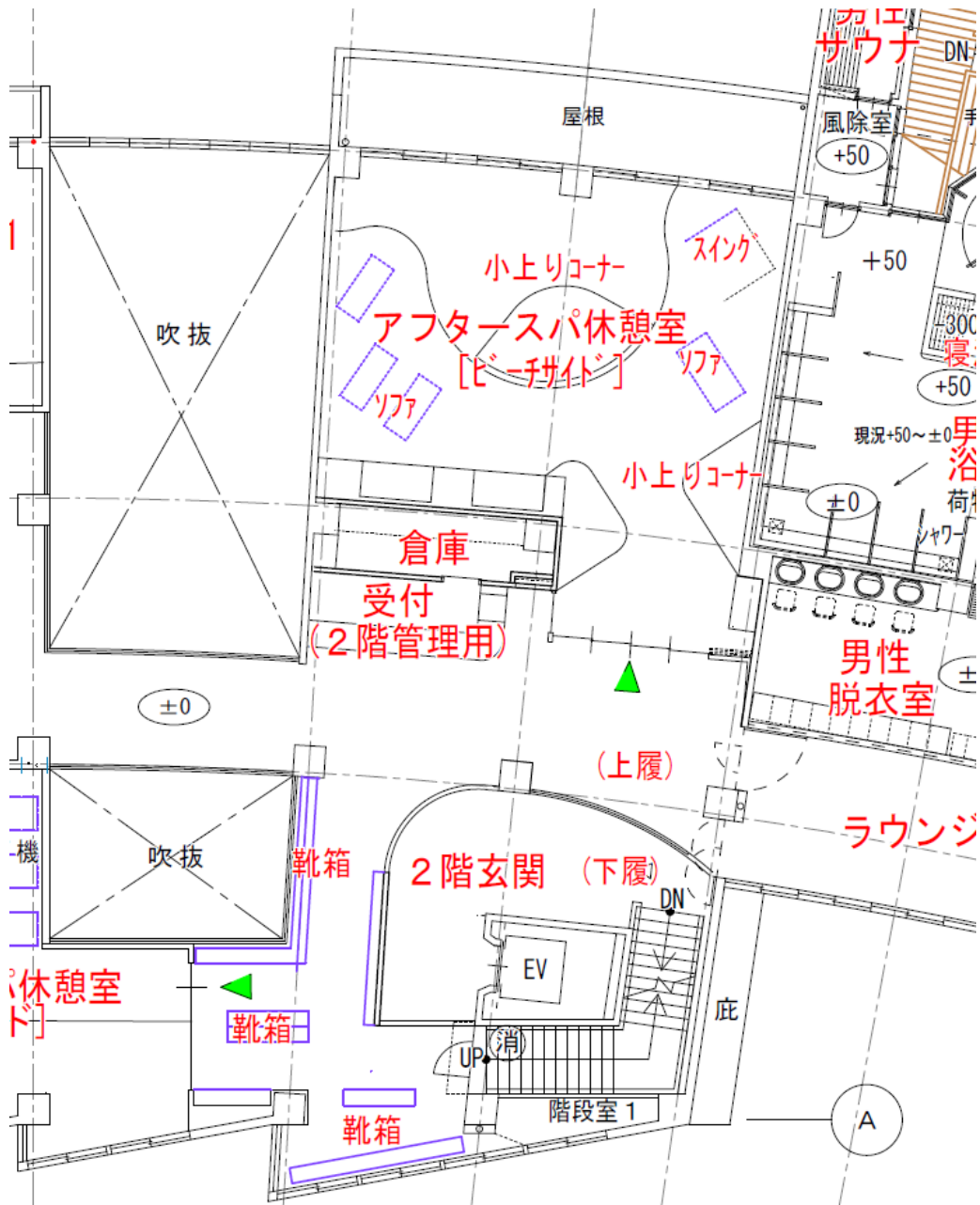


カフェレストラン入口から1階廊下方向を見たイメージ

(3) 2階共用部門

● 2階受付改修方針と内装イメージ

- ・ 2階玄関前に受付を設け、浴室を含む2階有料スペースを一元化管理します。
- ・ 利用者の利便性を考慮し、靴の履き替えスペースを確保します。
- ・ 木ルーバーを利用し、視線をある程度遮りつつ、見通しも確保して誘導する仕組みとします。
- ・ 階段とエレベーターの壁は1階から2階へ連続するテーマカラーの色とし、誘導します。



2階受付廻り平面



受付廻りイメージ

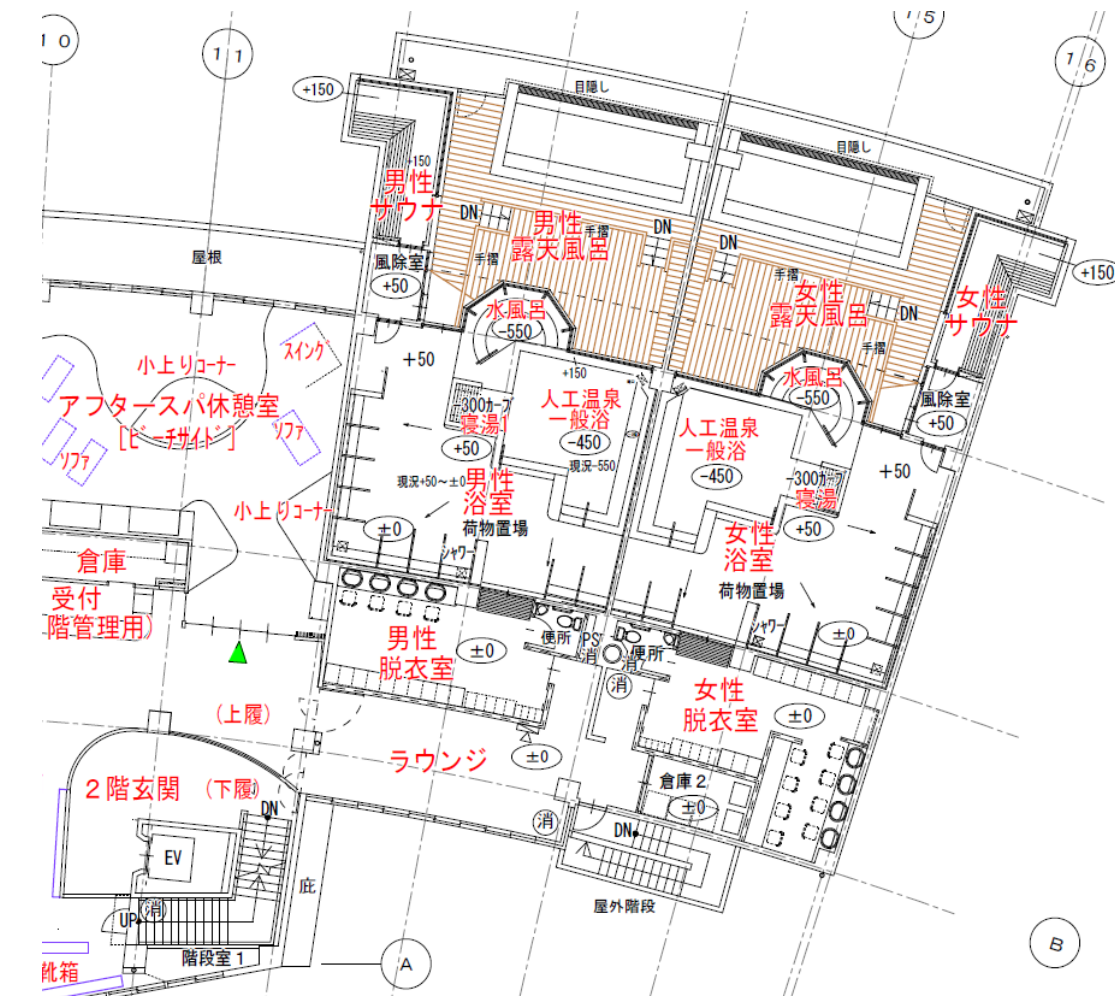


玄関、靴置場廻りイメージ

(4-1)入浴部門（内部浴室）

●浴室改修方針と内装イメージ

- ・設備老朽化及び漏水のため、躯体あらわし解体として防水工事から全体を一新します。但し浴槽のシルエットは躯体で作られているので、現在の形状を活かした浴槽とします。
- ・内部の浴槽は①一般浴+寝湯で光明石を利用した人工温泉、②サウナ用円形水風呂の2系統とし循環濾過を行います。
- ・洗い場は全て仕切りを設けます。
- ・かけ湯スペースと洗い場ブースの増設を検討します。
- ・内装は木風の仕上を中心に柔らかい雰囲気ですっきりとのお風呂を目指します。



浴室平面図



浴室イメージ1



浴室イメージ2

(4-2)入浴部門（露天風呂 サウナ）

●露天風呂改修方針とイメージ

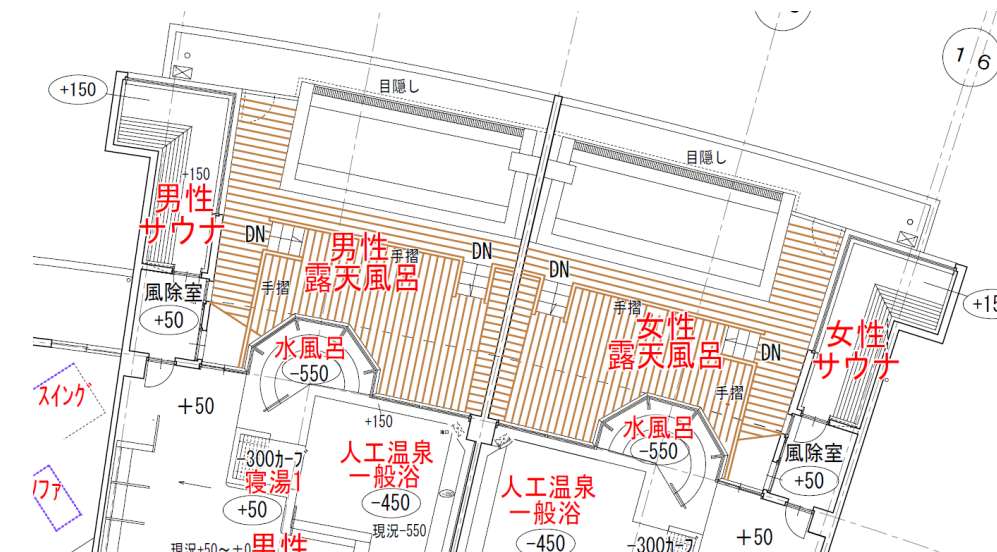
- ・下階への漏水が発生しているため、躯体以外全て撤去し、防水層及び新設配管、新仕上げを施します。
- ・露天浴槽は海側へ移動、そして海に平行して長手方向に置き式とし、景観を楽しむ仕組みとします。
- ・床レベルを上げ海が見え易い仕組みとします。
- ・浴槽以外の床は人工ウッドデッキとし、その下の空間を配管スペースとして活用します。
- ・炎天下対策のため一部可動式屋根を設置します。
- ・のぞかれ防止（女性）のため、海側手摺上部に横ルーバーを設けます。

●サウナ風呂改修方針

- ・男性用は人気の高い高温サウナ（ロウリュウの仕様は要検討）女性用は中温サウナを検討します。
- ・木をふんだんに使った内装とし、窓を活かし眺望を楽しむつくりとします。



露天風呂イメージ



露天風呂平面



目隠し横ルーバー参考写真



サウナ 参考写真

(5-2) 休憩部門 (有料利用)

●有料休憩コーナー改修方針とイメージ

- ・プライベートリビングを設けます。
- ・プライベートリビングは家族向けをイメージしたつくりとします。内装デザインは現況を活かしながら、リニューアルを行います。
- ・海側はバルコニーの手摺を取り払う事を検討し、眺望を活かすつくりとします。

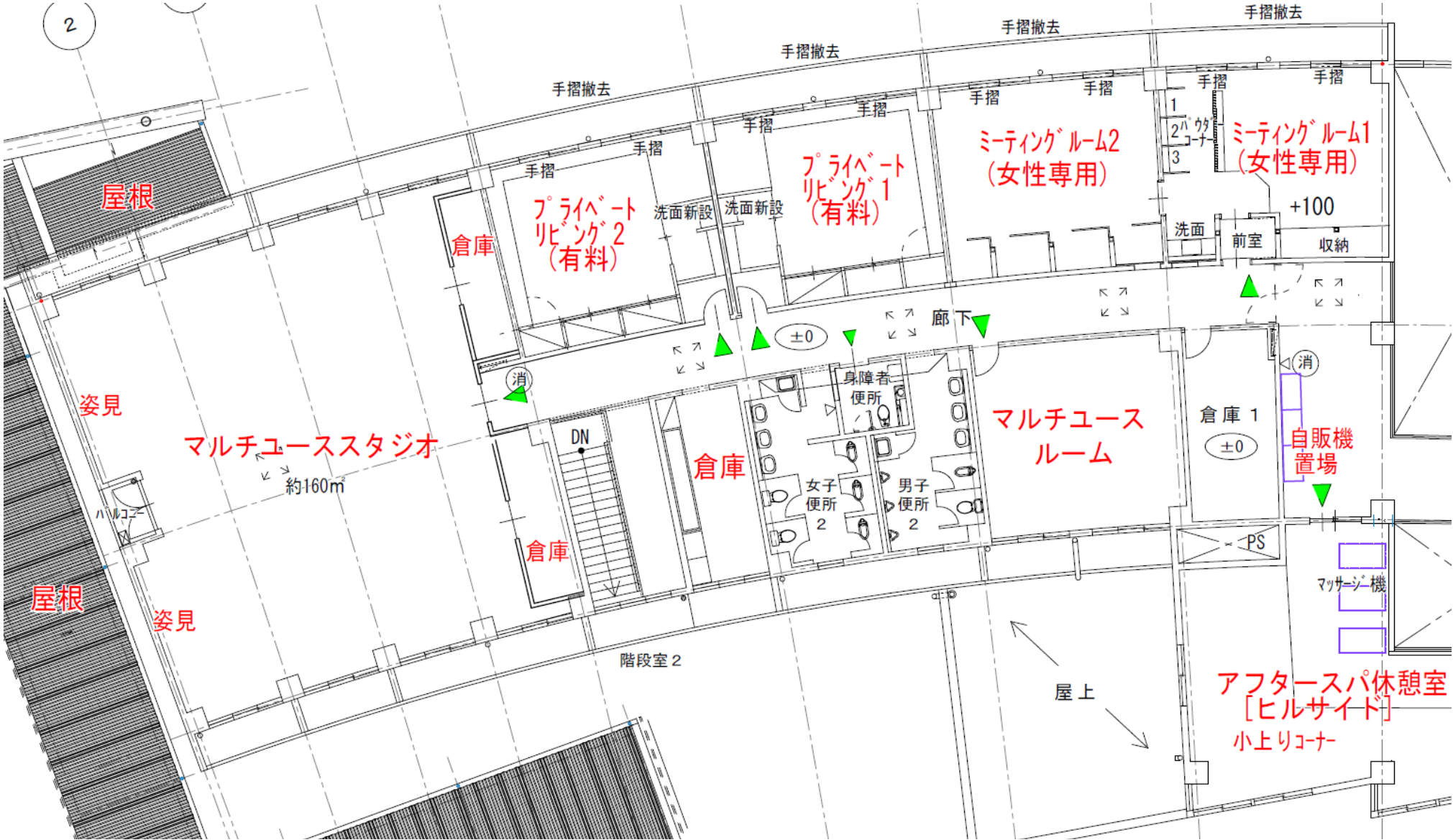
(6) 多目的部門

●マルチユースルーム改修方針とイメージ

- ・マルチユースルームは会議や研修、地域の集会等に活用します。

●マルチユーススタジオ改修方針とイメージ

- ・マルチユーススタジオは、軽スポーツ（ヨガ等）、ミニイベント会場で利用できるつくりとします。軽スポーツ利用があるため床は防音フローリングを検討します。



休憩個室と多目的室平面

●現在のメイン外観について

- ・現況のメインアプローチとなる駐車場側の北側外観が、建物の側面のコンクリートの外観で建物の側面となるため魅力にやや欠けるファサードとなっています。



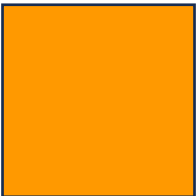
現況南面外観

●改修方針

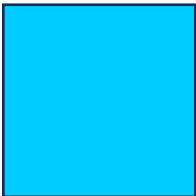
- ①アイストップとなるような特徴のある明るい新たな外観をつくり、視認性を高めます。
- ②玄関は駐車場に近くてわかりやすく、また眺望の良い海側につくり海や芝生広場（遊具も設置予定）へも誘導するようにしたいものの、海側は海風や北風が強いため風除室をもった玄関だけをつくったとしても風が強い日は使えなくなります。そこで風除室の周りに風を緩和する大きな壁面をつくって風除室を囲うようにします。そして玄関を明示するデザインで利用者を誘導します。

●デザイン方針

- この地を表す個性的で親しみのあるデザイン
- ・“空と海”“夕陽”そして波や広がりを感じさせるデザインを施し、親しみと柔らかな雰囲気演出します。イメージカラーとして次の3つをセレクトします。



オレンジ



ブルー



ホワイト



南面新外観イメージ



南面新外観イメージ（夕暮れ時）

●現在のメイン外観について

- ・道路側の外観はボリューム感があるものの、窓が少なく厨房の搬入口、屋外階段や機械室が目立ち、外壁色も白に近い色で変化に乏しいため、見せる外観とはなっていません。



●改修方針

現況東面外観

- ①建物中央の塔屋がある部分をテーマカラーで塗装を施して間延びした形を分節して特徴を出します。
- ②駐車場側に北面から続くテーマカラーに沿ったアイストップとなる壁を設け、サインの取付にも活用します。

●外壁等の改修方針

- ・築25年以上が経過して、ひび割れ等も散見されるため、今回補修の上外壁塗装を施します。



東面新外観イメージ（増築部分）



東面全体新外観イメージ

●西面の外構方針

- ・建物の西面にあるウッドデッキを増設して、一層使い勝手を良くします。
また芝生エリアの既設バーベキューコンロや照明は撤去し、イベント等に活用しやすいようにします。
- ・建物の北西面にあるスペースは遊具を設け新たな魅力付を行います。そのためにヤシの木以外の低木は撤去して器具を設置しやすくして、海の眺望を確保します。

●駐車場側の外構方針

- ・メイン玄関の設置に付随する玄関ポーチ棟の新設に伴い、ロータリーの改修を行います。
- ・駐輪場、ヤシの木の撤去や思いやり駐車場の改修等を行い、旧玄関への緊急車両（救急車等）の寄り付きを確保します。

●今後の検討事項

- ・西側外構に埋設されている海岸全体の雨水処理のためのボックスカルバートの位置が現時点で不明のため場合によっては増築建物等の形状変更が発生します。



イベントエリア
・ウッドデッキの増設
・バーベキューコンロ、照明の撤去

遊具エリア
・ヤシの木以外の樹木を撤去しスペースを確保、また海への眺望を確保

北東面外構エリア
・緊急車両（救急車等）の動線を確保の増設
・駐輪場やヤシの木の撤去、思いやり駐車場の改修